

教職の魅力想像プロジェクト、プラットフォーム会議に参加して

林 里穂（地域教育文化学部地域教育文化学科児童教育コース4年）

教職の魅力想像プロジェクトに参加し、教職の魅力を再確認できたと感じています。私は「聞き書きプロジェクト」と「学びのフォーラム」に参加しました。

「聞き書きプロジェクト」では、恩師の先生に教員としてのやりがいや日々大切にしていることなどのお話を伺い、それを文字に起こしました。このプロジェクトに参加して良かったと感じることは次の2点です。1点目、これまでよりも教員としての魅力を自分の言葉で話せるようになったことです。先生の言葉を聞き、私は子どもの嬉しい変化や自分自身の成長など、子どもにも自分にも変化のある毎日を送ることのできることの魅力を感じたのだと思いました。2点目、語り手の先生自身への魅力も再確認できたことです。子どもたちのために、1つのやり方にこだわらず、絶えず振り返り学び続けようとする先生の姿から、先生、そして教師という仕事自体にもさらに魅力を感じました。

「学びのフォーラム」では、学びについて、高校生や現場の先生方と意見を交換しながら考えを深めることができました。高校生ならではの今感じていることや、現場に出たことのある先生だからこそその考えからはっとさせられ、新たに学ぶことについて捉え直す機会となりました。また、学びに1つの答えがなく、だからこそ探究する面白さがあると感じました。

プラットフォーム会議では、出口毅先生をはじめとする大学の先生方、現場の先生方、そして高校生のお二人と教育についてお話しする貴重な経験をさせていただきました。様々な視点からの意見を聞くことができ、教職の魅力や山形の教員を増やしていくために何ができるのか、改めて考えさせられました。

春から山形県で教員として働かせていただきます。教員を目指した際の思いを忘れず、また子どもたちにも教員としてやりがいを持って働く姿を示していきたいと思います。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。